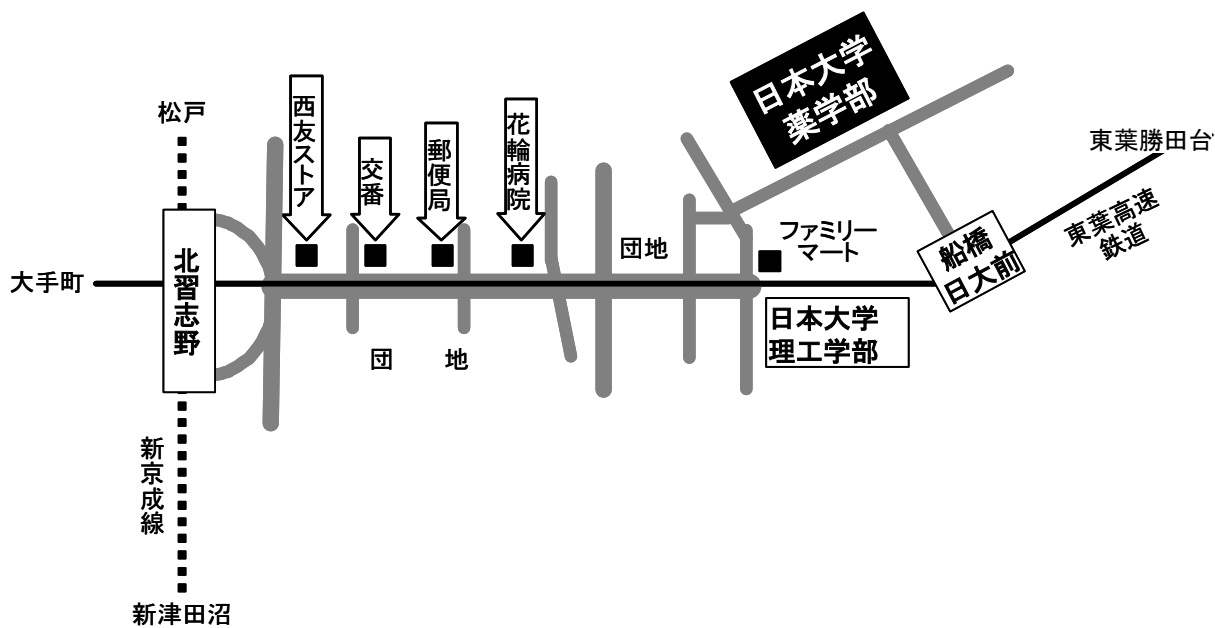
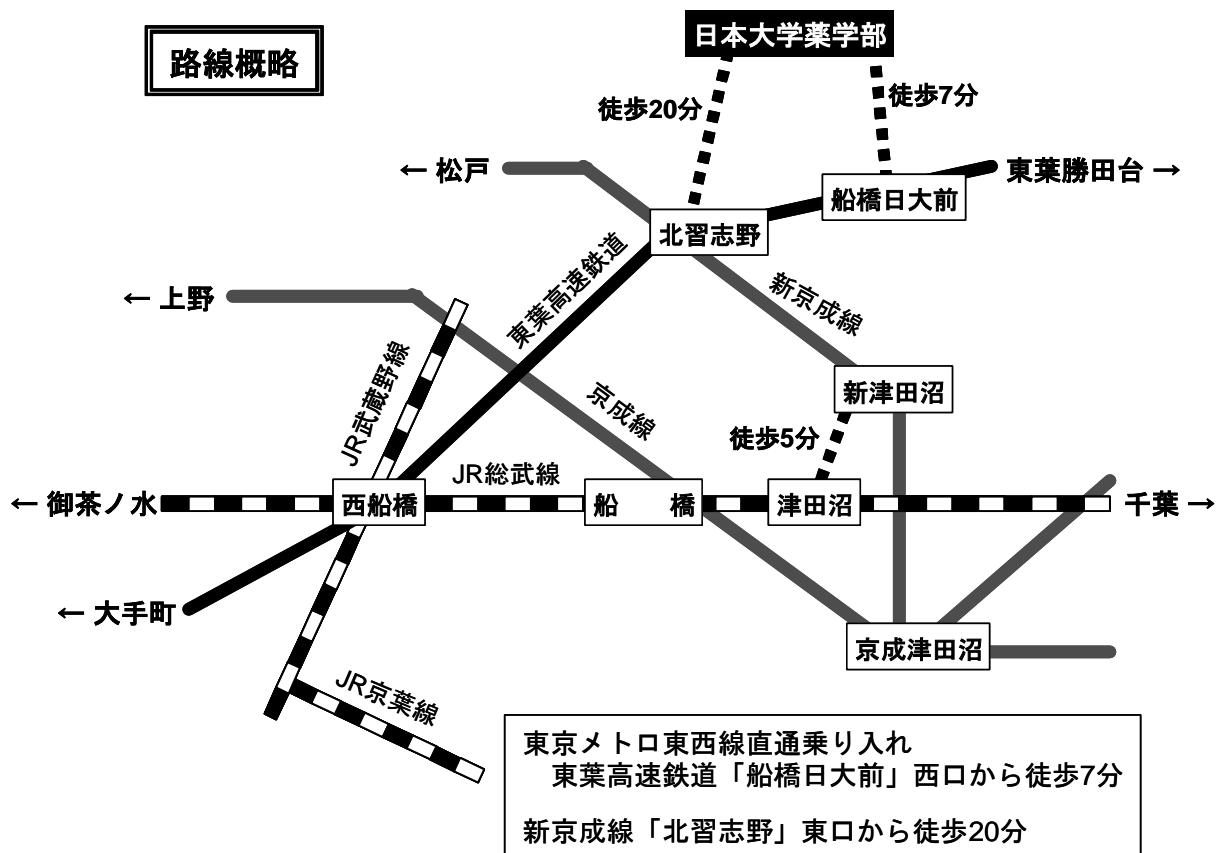
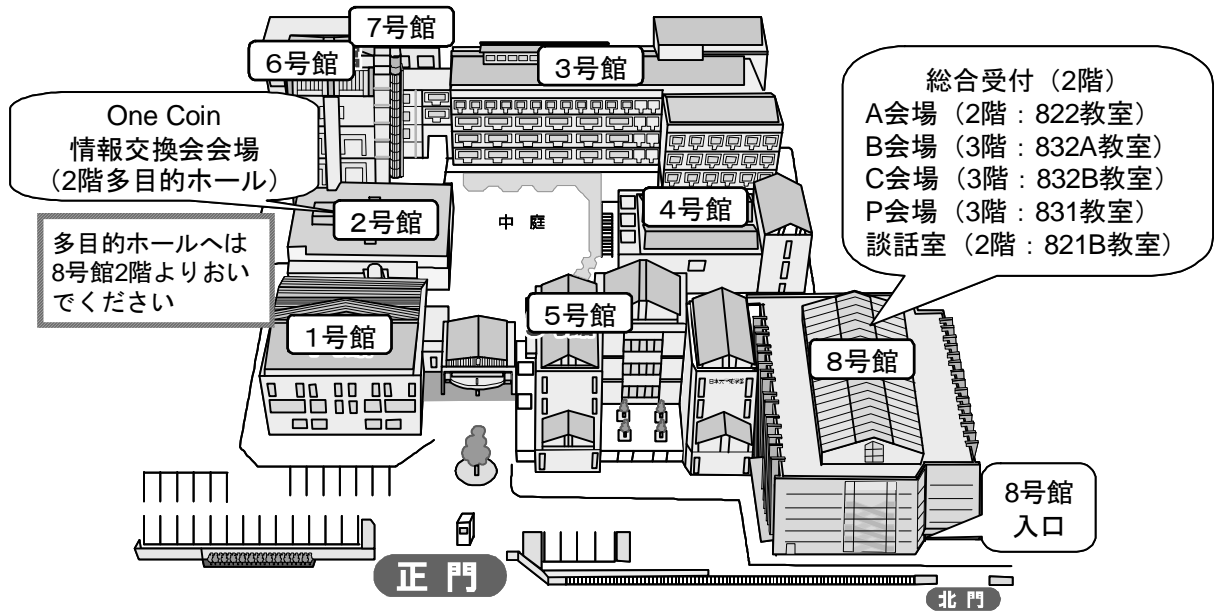


会場案内



日本大学薬学部

学会会場は、8号館および2号館です。
1号館～8号館は、2階廊下で連絡しています。



日本大学工学部

船橋日大前(西口)正面の道を直進。
信号を渡ると薬学部の北門です。
北門を入るとすぐに8号館の入口です。

工学部入口
ここからは入場しないでください。
工学部と薬学部は連絡していません

大手町寄りの階段をご利用ください。
東京方面からの場合、後から2~3両
目が便利です。

西口

船橋日大前

参加者へのお知らせとお願い

学術評議員各位

- 学術評議員会は、10月15日（土）午前11時から、B会場（832A教室）にて行います。事前登録の有無に関係なく、総合受付において参加手続きを行ってください。
- 学術評議員会に出席される先生方には昼食を用意しております。学術評議員会参加手続きの際、昼食引換券をお渡しいたしますので、学術評議員会終了後、ランチョンセミナー（特別講演1）会場（A会場：822教室）入り口で昼食のお弁当とお引き換えください。

参加者各位

- 参加受付は、10時より総合受付にて行います。
- 会場では参加証をおつけください。参加証のない方の入場はお断りいたします。
- 当日参加の方は、参加費（学術評議員：6,000円、一般会員：5,000円、非会員：6,000円）を添えて総合受付にてご登録ください。参加証と要旨集、領収書をお渡しいたします。
- 大学院生および学部学生は、会員・非会員を問わず無料です。当日、学生証を提示し、参加の手続きを行ってください。
- 12時より特別講演1をランチョンセミナーとして開催いたします。昼食は、評議員会出席者を優先し、先着130名までお渡しいたします。評議員会に参加されない方は、直接会場においでください。
- 会場内では、携帯電話、PHS等の電源はお切りいただくかマナーモードに設定の上、通話をご遠慮ください。
- 会場内での写真撮影、録音、録画は禁止です。

- 会場内は、禁煙です。薬学部内は屋外の決められた場所以外での喫煙は禁止されておりますので、ご注意ください。
- 当日は、会場内にクロークは設けておりませんので、各自で管理してください。
- 駐車場の手配はできませんので公共の交通機関をご利用ください。
- 11 時より 17 時まで談話室を開放いたします。談話室には飲み物を用意しております。
- 学会終了後、Young Investigator's Award の表彰式を兼ねて One Coin 情報交換会を開催いたします。

座長各位

- 担当時刻の 15 分前までに座長受付にて到着されたことをお知らせください。

特別講演の座長の先生

- 進行は、すべて座長の先生にお任せいたします。時間内に終了するようにご配慮をお願いいたします。

一般演題の座長の先生

- 一般演題は、発表 9 分、質疑応答 3 分（合計 12 分）です。時間内に活発な討論が行われるようにご配慮をお願いいたします。
- セッション終了時刻の厳守にご協力をお願いいたします。
- Young Investigator's Award (YIA) 対象演題の座長の先生には、審査をあわせてお願いいたします。選考に関する詳細は、座長受付にてお知らせいたします。YIA 演題終了後、選考結果を総合受付までお知らせください。

発表者各位

特別講演の先生方

- 発表は、原則として、PowerPoint による口頭発表です。発表データは、PowerPoint で作成し、USB メモリに保存して発表の 15 分前までに PC データ受付までお持ちください。なお、ご自分のパソコンを用いてのご講演も可能です。ご希望がありましたら、PC 受付にお申し出ください。

一般演題（口頭発表）の方

- 発表は、PowerPoint による発表です。発表データは、PowerPoint で作成し、USB メモリに保存して 15 時までに PC データ受付までお持ちください。一般演題では、PC 本体の持ち込みは不可とさせていただきます。
- 発表時間は発表 9 分、質疑応答 3 分の合計 12 分です。時間厳守をお願いいたします。
- YIA の選考にあたっては、研究内容のみならず、当日の発表、スライドの構成、発表時間（時間の厳守）、質疑応答等を総合的に判断いたします。

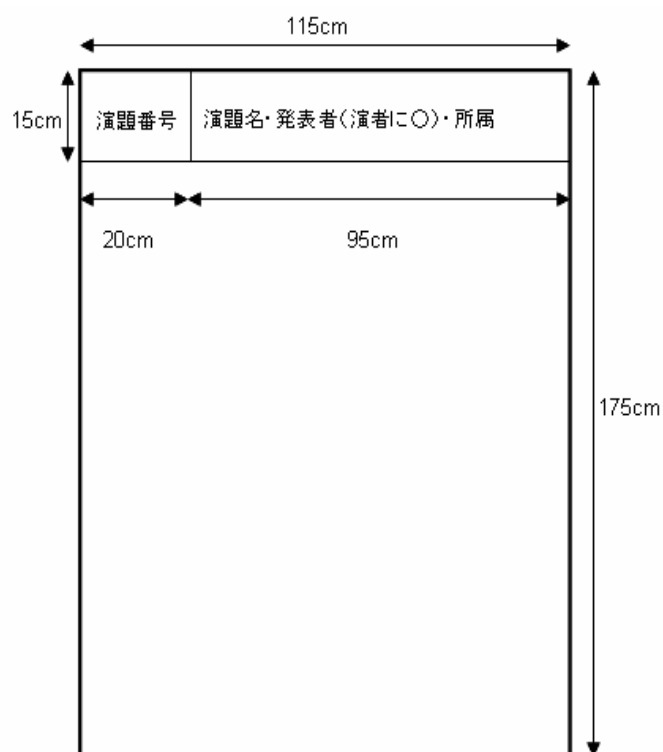
発表用ファイルの作成と確認について

- 対応アプリケーションは、Windows 用の Microsoft Office PowerPoint 2007 です。Macintosh を使用されている方は、ファイル形式を合わせてデータをお持ちください。この際、特に、文字のずれの発生にご注意ください。
- Windows に標準搭載されているフォントをご使用ください。
- 音声の使用はできません。
- PC 受付にてコピーした発表ファイルを試写して確認してください。
- 発表データは、発表終了後、事務局長立ち会いの下、責任を持って消去いたします。

一般演題（ポスター発表）の方

発表要項

- ポスターパネルは、右図のように、横 115 cm、縦 175 cm です。サイズ内に収まる大きさであれば、様式は問いません。
- 演題番号（横 20 cm、縦 15 cm）はこちらで用意いたします。
- ポスターには、演題名、発表者（演者に○）、所属を明記してください。また、少し離れたところからでもみえるように、文字の大きさに配慮してください。



掲示・示説・撤去

- ポスターは、12 時までに掲示してください。ポスターは、10 時 30 分より掲示できます。示説時間は、12 時 50 分～13 時 25 分です。
- 演題番号が表示されておりますので、該当するパネルを使用してください。
- 押しピン、発表者用リボンは各パネルに用意いたします。
- 座長はおりませんので、演者の方は、示説時間になりましたら、演者用リボンを付け、ご自身のポスターの前で討論を開始してください。活発なご討論をお願いいたします。
- ポスターは、16 時～17 時に撤去してください。17 時を過ぎても撤去されないポスターは、事務局で処分いたします。

発表要旨について

- 第 125 回日本薬理学会関東部会で発表された要旨は、後日「日本薬理学会誌」に掲載される予定です。

日本薬理学会会員の皆様へ

- 名簿をお渡しいたします。希望される方は、事前登録に関係なく総合受付にお立ち寄りください。

薬剤師の皆様へ

- 本学会は、薬剤師研修センター認定学術集会です。日本薬剤師会研修センター集合研修シールを総合受付にてお渡しいたしますので、必要な方はお申し出ください。

One Coin 情報交換会

- 学会終了後、2号館多目的ホールにて、軽食と飲み物（ワイン、ビール、ジュースなど）を用意した情報交換会を開催いたします。ワンコインでお気軽にご参加ください。なお、Young Investigator's Award の表彰は、本情報交換会において行います。

タイムスケジュール

A 会場	B 会場	C 会場	P 会場 (ホース)	談話室
822 教室	832A 教室	832B 教室	831B 教室	821B 教室
	11:00 学術評議員会 11:50		展 示 12:00	11:00
12:00 開会の辞 ----- ランチョンセミナー 特別講演 1 新井 平伊 先生 座長：伊藤 芳久 12:45			閱 覧	飲み物を用意 いたします
			12:50 示 説 13:25	
13:30 特別講演 2 橋本 均 先生 座長：飯野 正光 14:10			閱 覧	
14:10 特別講演 3 谷口 善仁 先生 座長：尾崎 博 14:50				
14:50 特別講演 4 岩田 幸一 先生 座長：草間 貞 15:30				
休 憩				
15:40 一般演題 (YIA : A1~A5) 座長：石井 邦夫 村山 俊彦 16:40	15:40 一般演題 (YIA : B1~B4) 座長：亀井 淳三 中木 敏夫 16:28	15:40 一般演題 (YIA : C1~C5) 座長：熊井 俊夫 渡辺 康裕 16:40	16:00 撤 去 17:00	17:00
16:40 一般演題 (A6~A10) 座長：上野 光一 大熊 康修 17:40	16:28 一般演題 (B5~B10) 座長：草間 國子 小林 真之 17:40	16:40 一般演題 (C6~C10) 座長：木澤 靖夫 田中 光 17:40		
閉会の辞			2 号館多目的ホール	
			17:45 ごろより One Coin 情報交換会 YIA 表彰式	

ランチオンセミナー

特別講演 I

A会場

S-1

12:00~12:45

座長：伊藤 芳久（日本大学・薬学部・薬理学）

アルツハイマー病：新薬誕生で治療はどう変わったか？

新井 平伊

順天堂大学大学院・精神行動科学

協賛：第一三共株式会社

特別講演Ⅱ

A会場

S-2 ~ S-4

13:30~15:30

S-2

13:30~14:10

座長：飯野 正光（東京大学大学院・医学系研究科・細胞分子薬理学）

ニューロペプチド PACAP と精神機能調節

橋本 均

大阪大学大学院・薬学研究科・神経薬理学

大阪大学大学院・医学系研究科・分子医薬学

大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・連合小児発達学

S-3

14:10~14:50

座長：尾崎 博（東京大学大学院・農学生命化学研究科・獣医薬理学）

薬理学分野における遺伝子改変メダカの利用

谷口 善仁

慶應義塾大学医学部・衛生学公衆衛生学

S-4

14:50~15:30

座長：草間 貞（日本大学・薬学部・機能形態学）

覚醒サルを用いた痛覚弁別と脳活動解析

岩田 幸一

日本大学歯学部・生理学

一 般 演 題

A 会場

A-1 ~ A-5 (YIA 対象演題)

15:40~16:40

座長：石井 邦夫（北里大学・薬学部・分子薬理学）

村山 俊彦（千葉大学大学院・薬学研究院・薬効薬理学）

A-1 内因性アルデヒド 4-hydroxynonenal を標的とした筋萎縮性側索硬化症（ALS）治療薬開発の可能性

○宮岸 寛子¹、小菅 康弘¹、齋藤 弘明²、石毛 久美子¹、宮入 伸一²、伊藤 芳久¹

日本大学・薬学部・¹薬理学、²有機化学

A-2 Post-stroke depression に対する神経前駆細胞注入の効果

○森山 慶之、高木 教夫、田野中 浩一

東京薬科大学・分子細胞病態薬理学

A-3 神経分化に対するツニカマイシン誘導性小胞体ストレスの影響

○東野 俊作、川田 浩一、藤永 直己、金子 雅幸、大熊 康修

千葉科学大学・薬学部・薬理学

A-4 酸化ストレスによるユビキチンリガーゼ HRD1 の不溶化と凝集体形成

○齋藤 僚¹、金子 雅幸¹、野村 靖幸²、大熊 康修¹

¹千葉科学大学・薬学部・薬理学、²横浜薬科大学・薬学部・薬物治療

A-5 ユビキチンリガーゼ RNF19B および Dorfin 発現抑制によるアミロイド β 産生への影響

○山森 正嗣¹、金子 雅幸¹、小野口 雅之¹、野村 靖幸²、大熊 康修¹

¹千葉科学大学・薬学部・薬理学、²横浜薬科大学・薬学部・薬物治療

A-6 ~ A-10

16:40~17:40

座長：上野 光一（千葉大学大学院・薬学研究院・高齢者薬剤学）
大熊 康修（千葉科学大学・薬学部・薬理学）

A-6 神経障害性疼痛下における脊髄内エピジェネティクスの網羅的解析

○池上 大悟¹、伊達 明利¹、成田 道子¹、五十嵐 勝秀²、菅野 純²、成田 年¹

¹ 星薬科大学・薬理学、² 国立医薬品食品衛生研究所・安全性生物試験研究センター・毒性部

A-7 視神経節細胞選択的に蛍光タンパク質を発現しているトランスジェニックマウスを用いたカプサイシンの視神経保護作用の評価

○坂本 謙司、黒木 大陽、関谷 春菜、渡辺 彰宏、森 麻美、中原 努、石井邦雄
北里大学・薬学部・分子薬理学

A-8 マウス人工多能性幹細胞の DNA 合成に関与する細胞内シグナル伝達分子への α_1 アドレナリン受容体刺激の影響

○五嶋 葉月、小澤 亜也子、石塚 俊晶、渡辺 康裕
防衛医科大学・薬理学

A-9 新規ナフトキノンモノオキシム誘導体のがん増殖抑制作用の検討

○佐藤 洋美¹、柳原 碧¹、山田 仁²、山田 遼太¹、矢野 友啓²、熊本 卓哉³、石川 勉¹、上野 光一¹

¹千葉大学大学院・薬学研究院・高齢者薬剤学、²東洋大学生命科学・分子病態制御学、³武蔵野大学大学院・有機合成化学

A-10 タンパク質の糖鎖修飾に対する単糖の作用

○松本 明郎・立花 知子・川中 真澄・中谷 晴昭
千葉大学大学院・医学研究院・薬理学

B 会場

B-1 ~ B-4 (YIA 対象演題)

15:40~16:28

座長：亀井 淳三（星薬科大学・薬物治療学）

中木 敏夫（帝京大学・医学部・薬理学）

B-1 恐怖反応の復元に関わる神経回路および分子メカニズムの解明

○沈 慧蓮、松木 則夫、野村 洋

東京大学大学院・薬学系研究科・薬品作用学

B-2 Mecp2 ヘテロ接合雌マウスの視床下部外側野の細胞外ノルアドレナリン量へ cholecystokinin および reboxetine が及ぼす効果

○滝口 旗一¹、青野 悠里²、三枝 禎²、越川 憲明²、白川 哲夫¹

¹日本大学・歯学部・小児歯科学、²日本大学・歯学部・薬理学

B-3 慢性皮膚炎様マウスにおける長期ステロイド塗布による痒みモデルの作成

○土居 亮介¹、山浦 克典²、諏訪 映里子²、上野 光一²

¹千葉大学・薬学部・高齢者薬剤学、²千葉大学大学院・薬学研究院・高齢者薬剤学

B-4 選択的 ROCK 阻害剤 fasudil による CXCL14/BRAK 細胞外分泌促進を介した抗腫瘍効果の検討

○宮本 千央^{1,2}、前畑 洋次郎^{1,2}、小澤 重幸²、生駒 丈晴²、小森 令賀²、居作 和人²、畑 隆一郎²、李 昌一^{1,2}

¹神奈川歯科大学・生体管理医学・薬理学、²神奈川歯科大学・口腔難治疾患研究センター

B-5 ~ B-10

16:28~17:40

座長：草間 國子（日本大学・薬学部・生化学）
小林 真之（日本大学・歯学部・薬理学）

B-5 Benzodiazepine 系薬物慢性処置による morphine 誘発自発運動促進作用への影響

○増川 太輝、芝崎 真裕、森 友久、鈴木 勉
星薬科大学・薬品毒性学

B-6 側坐核中型有棘ニューロン間の抑制性シナプス伝達に対するコリン作動性調節

○鰐原 賀子、山本 清文、小林 真之、越川 憲明
日本大学・歯学部・薬理学

B-7 レプチンによる島皮質におけるシナプス伝達の調節メカニズム

○武井 浩樹^{1,2}、小林 真之¹、藤田 智史¹、越川 憲明¹
¹日本大学・歯学部・薬理学、²日本大学・歯学部・小児歯科学

B-8 発達期の異常免疫応答が惹起する脳機能障害における IFITM3 の役割

○衣斐 大祐^{1,2}、永井 拓¹、鍋島 俊隆²、山田 清文¹
¹名古屋大学大学院・医学系研究科・医療薬学・医学部附属病院薬剤部、
²名城大学大学院薬学研究科・薬品作用学

B-9 海馬長期増強を強力に促進するフィセチン類縁体の探索

○赤石 樹泰¹、小川 聖美¹、浅川 倫宏²、菅 敏幸²、阿部 和穂¹
¹武蔵野大学・薬学部・薬理学、²静岡県立大学・薬学部・医薬品製造化学

B-10 イノシトール 1,4,5-三リン酸シグナリングは小脳バーグマングリアのグルタミン酸取り込み能力を維持する

○大久保 洋平¹、間下 雅士¹、山澤 徳志子¹、山崎 美和子²、渡辺 雅彦²、村山 俊彦³、飯野 正光¹
¹東京大学大学院・医学部・細胞分子薬理、²北海道大学大学院・医学部・解剖発生、³千葉大学大学院・薬学部・薬効薬理

C 会場

C-1 ~ C-4 (YIA 対象演題)

15:40~16:40

座長：熊井 俊夫（聖マリアンナ医科大学・大学院・遺伝子多型機能解析学）

渡辺 康裕（防衛医科大学・薬理学）

C-1 Timothy 症候群点変異により明らかとなった L 型 Ca^{2+} チャンネル阻害薬ニフェジピンの 2 つの異なる作用機序

○生 暁娜^{1,2}、中田 勉¹、小林 基弘³、柏原 俊英¹、青山 俊文²、山田 充彦¹

¹信州大学・医学部・分子薬理学、²信州大学・医学系研究科・加齢適応医科学系専攻・代謝制御学、³信州大学・医学系研究科・臓器移植工学医科学系専攻・分子病理学

C-2 モルモット肺静脈心筋自発活動における細胞内 Ca^{2+} 動態と電気生理学的性質

○恒岡 弥生¹、行方 衣由紀¹、川西 徹²、田中 光¹

¹東邦大学・薬学部・薬物学、²国立医薬品食品衛生研究所

C-3 気道の薬理学的研究 (第 352 報): Soluble epoxide hydrolase 阻害薬による抗原誘発気管支平滑筋過敏性発現の抑制

○石渡 聡美¹、宮澤 綾¹、渋谷 彩¹、岡本 祐二¹、酒井 寛泰¹、三澤 美和^{1,3}、成田 年¹、千葉 義彦^{1,2}

¹星薬科大学・薬理学、²星薬科大学・生物学、³日本薬科大学・薬理学

C-4 lipopolysaccharide 誘発気道炎症および気道過敏性に対する p38 MAPK γ の関与

○上田 敬太郎、木村 元気、齋藤 清茂、益子 崇、木澤 靖夫、草間 貞

日本大学・薬学部・機能形態学

C-5 タバコ煙曝露マウスにおけるステロイド治療抵抗性気道炎症に対する選択的 PI3K inhibitor の併用効果

○木村 元気¹、上田 敬太郎¹、江藤 翔一¹、Kazuhiro Ito²、Peter J. Barnes²、木澤 靖夫¹、草間 貞¹

¹ 日本大学・薬学部・機能形態学、²NHLI・Imperial Coll., UK

C-6 ~ C-10

16:40~17:40

座長：木澤 靖夫（日本大学・薬学部・機能形態学）

田中 光（東邦大学・薬学部・薬物学）

C-6 血管拡張作用を有するハーブ類のラット血清 NOX 変動に及ぼす影響

○窪田 洋子¹、野口 早織¹、北澤 紀幸¹、茅野 大介²、渡邊 泰雄¹

¹日本薬科大学、²東邦大学・薬学部

C-7 高血糖誘発高血圧高脂血症自然発症ラットの大動脈における酸化ストレス消去系の変化について

○熊井 俊夫¹、松本 直樹²、渡辺 実³、武半 優子²、大場 啓一郎¹、小田 剛¹、小泉 剛¹、小林 真一⁴

¹聖マリアンナ医科大学大学院・遺伝子多型機能解析学、²聖マリアンナ医科大学大学院・薬理学教室、³聖マリアンナ医科大学・実験動物飼育管理研究施設、⁴昭和大学・医学部・臨床薬理学

C-8 1型リアノジン受容体チャネルゲーティングにおける S4-S5 リンカーの役割

○村山 尚¹、呉林 なごみ¹、大羽 利治²、小山田 英人³、小口 勝司³、小川靖男¹、櫻井 隆¹

¹順天堂大学・医学部・薬理学、²名古屋市立大学・生理学 1、³昭和大学・医学部・薬理学 1

C-9 摘出モルモット大腸粘膜標本からのタキキニンNK2受容体作動性セロトニン放出に及ぼすメラトニンの抑制効果

○児嶋 修一¹、藤平 篤志²、安西 尚彦¹

¹獨協医科大学・薬理学、²獨協医科大学・実験動物センター

C-10 盲腸結紮穿刺術により誘導される腹腔内炎症物質の作用に対する PPAR γ 活性化薬の効果

○杓掛 真彦¹、田村 和広¹、小林 誠人¹、堀江 まなみ¹、辻村 行啓¹、吉江 幹浩¹、立川 英一¹、松谷 毅²、松田 明久²、笹島 耕二²

¹東京薬科大学・薬学部・内分泌・神経薬理学、²日本医科大学・多摩永山病院・外科

P 会場

P-1 ~ P-15 (ポスター発表)

12:50~13:25

- P-1 糖尿病マウスの不快情動反応におけるカンナビノイド神経系の関与
○甲斐 美紗、朝戸 めぐみ、池田 弘子、亀井 淳三
星薬科大学・薬物治療学
- P-2 ピラジンを有するビグアニド誘導体の酸感受性イオンチャンネル及びグルタミン酸受容体に対する影響
○益子 崇、三宅 宗晴、鈴木 豊史、伴野 和夫、草間 國子、木澤 靖夫、草間 貞
日本大学・薬学部
- P-3 ミクログリア活性化によるパーキンソン病モデル動物の作製における炎症性サイトカインの役割
○田中 佐知子¹、石井 敦子¹、大滝 博和²、塩田 清二²、沼沢 聡¹
¹昭和大学・薬学部・毒物学、²昭和大学・医学部・解剖学
- P-4 筋萎縮性側索硬化症 (ALS) モデルマウスの運動ニューロンにおける PGE₂受容体の発現解析
○米岡 祐貴、宮岸 寛子、長田 暢弘、小菅 康弘、石毛 久美子、伊藤 芳久
日本大学・薬学部・薬理学
- P-5 老齢マウスの脳内メラトニンについて
○池口 麻衣子、石毛 久美子、小菅 康弘、伊藤 芳久
日本大学・薬学部・薬理学
- P-6 HT22 細胞における Bmal1 の誘導に及ぼすホルスコリンおよびアミロイドβタンパク質の影響
○大石 汐織、石毛 久美子、小菅 康弘、伊藤 芳久
日本大学・薬学部・薬理学

- P-7 ビスホスホネートによる血管内皮細胞障害にはグルコース濃度が重要な役割を果たしている
○田島 雅道、坂上 宏
明海大学・歯学部・病態診断治療学・薬理学
- P-8 ロサルタンがメラトニンの生体リズムに及ぼす影響について探索する研究
○荒川 基記¹、内田 直樹²、神田 菜摘¹、黒澤 由香利³、小谷 崇³、上松瀬 勝男³、
遠藤 真弘³、山崎 力⁴、日高 慎二¹
¹ 日本大学・薬学部、² 昭和大学・医学部、³ 医療法人社団 冠心会 大崎病院 東京
ハートセンター、⁴ 東京大学大学院・医学系研究科
- P-9 気管内注入法を用いた新しい気管支喘息モデル —テオフィリンとデキサメタゾ
ンの作用比較—
○田中 求
埼玉医科大学・薬理学
- P-10 スルホニル尿素系薬 glibenclamide の肝細胞取込み経路の解明
○堂前 真理子¹、上野 誠二²、JUTABHA Promsuk^{1,2}、三浦 大作³、木村 徹²、櫻
井 裕之²、内田 幸介¹、安西 尚彦¹
¹ 獨協医科大学・医学部・薬理学、² 杏林大学・医学部・薬理学、³ 兵庫医療大学・
薬学部・毒性学
- P-11 DMX シート[®]の唾液腺に及ぼす影響
○四宮 敬史^{1,2}、滝沢 友里香³、阿部 裕之²、塚越 絵里²、大久保 みぎわ²、澤木
康平²、奥村 重年⁴、川口 充²
¹ 東京歯科大学口腔科学研究センターhrc8、² 東京歯科大学薬理学講座、³ 東京歯科
大学、⁴ ロート製薬株式会社

- P-12 ヒト P2Y6 受容体発現 1321N1 アストロサイトーマ細胞からの IL-8 分泌機構に関する検討
○児島 恵里香、伊藤 政明、蓬田 伸一、松岡 功
高崎健康福祉大学・薬学部・薬効解析学
- P-13 肥満細胞におけるプリン受容体を介した脱顆粒制御機構
○西 晴久
東京慈恵会医科大学・医学部・薬理学
- P-14 神経芽腫に対するニガウリ由来 kuguaglycoside C の抗腫瘍効果
○田畑 恵市¹、濱野 葵¹、秋久 俊博²、鈴木 孝^{1,3}
¹ 日本大学・薬学部、² 日本大学・理工学部、³ 日本大学・医学部
- P-15 ヒトマクロファージの分化に伴うアラキドン酸代謝酵素群の発現変動
○日塔 武彰、石橋 赴人、杉山 朋憲、小野寺 憲治
横浜薬科大学・臨床薬学科・薬物治療学